

編集後記

2014年4月に私が体育研究所所長を谷釜学長から拝命しました。その際、スポーツトレーニングセンター長である西山哲成先生と協力して2020年東京オリンピックパラリンピックに向けて学内にアスリートサポートの仕組みを作ることを命じられました。結果的に、体育研究所は「日体大アスリートサポートシステム (Nittaidai Athlete Support System: NASS)」をその活動の中心とすることになりました。

2015年に活動を始めたNASSのサポート件数は2016年には400件に迫る勢いです。その中には本年度のリオオリンピック・パラリンピックにおける競技のサポートもあれば、一般学生を対象とした教育サポートも含まれています。さらに国立スポーツ科学センターとの連携によるタレント発掘事業も目覚ましい成果を上げました。これらの成果はNASSの活動がどうこうというよりは、日体大が元来もつスポーツ分野における潜在能力の高さとそのすそ野の広さが顕在化された結果と言えます。

2020年に向けて日体大の学生アスリート、コーチ、そして全ての学生の皆様に対して競技力に関するなんらかの支援を行うべくこれからもNASSの取り組みを進めていければと思っています。

中里 浩一